

耳鼻いんこう科

1. 概要

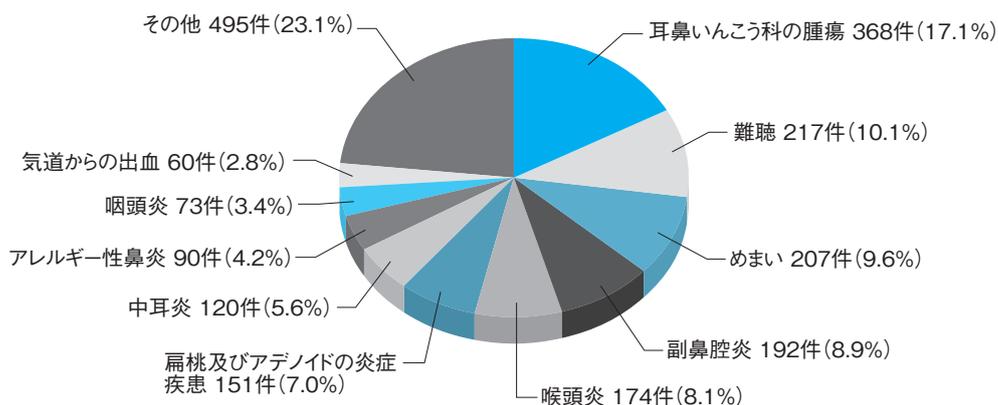
中耳炎、めまい、難聴、顔面神経麻痺に対して投薬治療を行い、改善を認めない場合は当院にて外科的治療を行っている。また、耳鳴り専門外来を設置し、専門的な治療を行っている。

アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔湾曲症に対して、患者の病態や希望にあった治療（手術療法や投薬治療）を行った。慢性扁桃炎や睡眠時無呼吸症候群に対して、口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術を行った。また鼻出血、急性扁桃炎、喉頭蓋炎等の救急疾患については、重症度に合わせて入院治療を行った。咽頭・喉頭・甲状腺・唾液腺等の良性腫瘍に対しては、適応を定めて手術療法を行った。悪性腫瘍に対しては、それぞれの患者の状況に合わせて、根治と機能温存のバランスを取り、手術療法、化学療法、放射線療法の3者を組み合わせて治療を行った。再建を必要とする様な症例も積極的に当院で行った。

(部長 小澤 泰次郎)

2. 新規登録疾患

総数：2,147件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
耳鼻いんこう科の腫瘍	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物, 甲状腺	83	D440
	口腔及び消化器の性状不詳又は不明の新生物, 口唇, 口腔及び咽頭	82	D370
難聴	感音難聴, 詳細不明	119	H905
	老人性難聴	33	H911
めまい	その他の末梢性めまい	179	H813
	メニエール病	23	H810
副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎, 詳細不明	183	J329
喉頭炎	慢性喉頭炎	174	J370
扁桃及びアデノイドの炎症疾患	扁桃肥大	58	J351
	急性扁桃炎, 詳細不明	50	J039
中耳炎	非化膿性中耳炎, 詳細不明	53	H659
	中耳炎, 詳細不明	52	H669
アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎, 詳細不明	90	J304
咽頭炎	急性喉頭咽頭炎	56	J060
	急性咽頭炎, 詳細不明	14	J029
気道からの出血	鼻出血	58	R040

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	27,153人	年間外来新患者数	3,623人
年間入院患者数	7,410人	年間入院新患者数	890人

(2) 入院患者の状況

①主な救急疾患（入院加療を要した）

疾患名	件数(件)
急性扁桃炎・扁桃周囲の腫瘍	59
急性喉頭蓋炎・喉頭炎	21
めまい	15
顔面神経麻痺	13
突発性難聴	11
鼻出血	8
計	127

②主な手術療法（手術室使用）

術式	件数(件)
口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術	250
内視鏡下副鼻腔手術	85
甲状腺腫瘍手術	64
鼓膜チューブ留置術	55
リンパ節摘出術	37
気管切開術	33
耳下腺腫瘍手術	25
頸部郭清術	24
喉頭微細手術	15
咽頭悪性腫瘍手術	13
喉頭全摘術	5
顎下腺摘出術	4
計	610

学会発表（医局）

<耳鼻いんこう科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	鼻中隔に発生した腺様嚢胞癌の一症例	筆頭演者	小澤泰次郎	第29回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	仙台市	2019/1/25	
2	咽頭全摘術患者における栄養学的予後指数と縫合不全との関係	筆頭演者	小澤泰次郎	第34回日本静脈経腸栄養学会学術集会	東京都	2019/2/15	
3	喉頭全摘術患者における栄養学的予後指数と縫合不全との関係	筆頭演者	小澤泰次郎	第43回日本頭頸部癌学会	金沢市	2019/6/14	
4	ニボルマブの投与により皮膚障害および下垂体機能低下症を発症した蝶形骨洞癌の1例	筆頭演者	山口 慎人	第43回日本頭頸部癌学会	金沢市	2019/6/14	
5	側頭骨病変を契機に診断されたランゲルハンス細胞組織球症の1例	筆頭演者	朝岡 龍博	第81回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	名古屋市	2019/6/27	S
6	Fisher症候群の2症例	筆頭演者	玉井ひとみ	第81回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	名古屋市	2019/6/28	
7	外耳道腺様嚢胞癌の2例	筆頭演者	小澤泰次郎	第29回日本耳科学会総会・学術講演会	山形市	2019/10/11	
8	難治性BPPVに持続性知覚性姿勢誘発めまいを併発し認知行動療法にて症状が著明に改善した1症例	筆頭演者	福島 諒奈	第78回日本めまい平衡医学会総会学術講演会	富山市	2019/10/25	S